



## 「平方北小学校再編検討協議会」とは

上尾市学校施設更新計画基本計画では、小学校は全ての学年で1学級編制の状態が5年以上継続することが見込まれた場合、学校関係者、保護者や地域住民とともに、統廃合を含めた学校の再編について、検討を開始することとしています。

平方北小学校は令和2年から1学年1学級編制の状態が続いており、今後もその状態が見込まれるため、市では令和6年度から上尾市立平方北小学校再編検討協議会を設置し、子供たちの学びに望ましい学校規模を実現する最適な方法を検討していきます。

## 他自治体の事例について

前回の協議会で、他自治体の事例を知りたいとの意見があったため、埼玉県内の市町村へアンケートを実施しました。

統廃合した学校があると回答した団体が25団体でした。（全体の約41%）

学校を存続するために学区調整をした学校があると回答した団体は2団体でした。（全体の約3%）

多くの自治体で、学校規模適正化の手法として、統廃合が行われていることがわかりました。

### 学校規模適正化のための統廃合や学区調整に関する調査

団体数 回答数：県内61市町村

学校規模の適正化のため、統廃合をした学校がある

25

小規模となった学校を存続するために学区調整をした学校はある

2

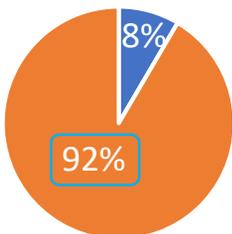
## 中学生向けアンケートの結果について

小学校の頃に単学級を経験した中学生が在籍する学校を対象に、クラス数やクラス替えについてのアンケートを実施しました。

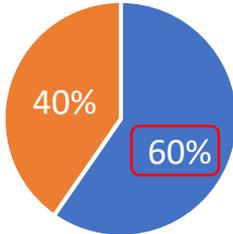
単学級を経験していない生徒にもアンケートを実施したため、回答を小学校の時のクラス数別に集計しました。

### 小学校の時にはクラス数が1クラスの場合と2クラス以上ある場合はどちらが良いと思いますか？

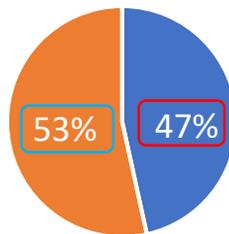
2クラス以上だった  
生徒の回答



1クラスだった  
生徒の回答



両方経験した  
生徒の回答



■ 1クラスだけ ■ 2クラス以上

2クラス以上が良いと選んだ理由は、毎年新しい友達と出会うことができる、沢山の友達を作ることができるが多かったです。  
1クラスが良いと選んだ理由は、仲の良い友達とずっと同じクラスでいられるが多かったです。  
どちらの回答も友達関係を重視していることがわかりました。

### 《中学生向けアンケートに関する委員の意見》

- ・（未就学児保護者）少人数のクラスで、仲の良い友達がおらず「仲の良い友達とクラスが離れてしまうから」と書けなかった子がいると思います。アンケートの数字ではなく、そういった声の方が大事だと思います。また、アンケートの結果に重きを置いてしまうと、子ども達に責任を取らせるような形になってしまうので、参考程度にした方が良いでしょう。



※アンケートの詳細は裏面の二次元コードを読み取り、第5回会議資料をご覧ください。

第5回協議会からは再編による課題を検討するため、以下の流れで協議していくことになりました。

- ①どこへ編入とするか
- ②通学距離が延びた際の通学方法
- ③いつ編入とするか



## ①どこへ編入とするかに関する委員の意見

これまで「平方北小学校の通学区域を拡大して他校の児童を編入させる方法」と、「平方北小学校の児童が別の学校に編入する方法」がありました。

まず、平方北小学校の児童が別の学校へ編入する場合は、こういった編入が望ましいかについて協議しました。

### 《在校生に限り、同じ学校へ編入する》

- ・（現役保護者）平方北小は仲が良いので、バラバラにならず皆で一緒に通えるのは良いと思う。
- ・（現役保護者）下の子は家の近くの学校に通うことになる、きょうだいも別々の小学校になってしまう。

### 《家から近い学校を選択して編入する》

- ・（未就学児保護者）選択制にするとトラブルもあると思う。トラブル防止のためにも、ある程度は市で決めてほしい。
- ・（現役保護者）下のきょうだいも学校を選べるのか、どこまで市としては対応できるのかを決めておいた方が良く思う。

### 《全員で大石南小へ編入する》

- ・（地元住民）平方の各小学校の中で、水害時の避難所になっているのは、大石南小だけなので、安全に通える学校を選択すべき。遠い子はスクールバスを使えば、安全に通学することができる。
- ・（地元住民）水害のリスクのことを考えれば、バスでないと行けない距離にしか避難所がないというリスクもある。
- ・（現役保護者）中学校で太平中と大石南中に分かれるので、大石南小に全員で編入した場合は、中学校で結局別れてしまう。

### 《その他の留意点》

- ・（地元住民）編入先の学校が再度、再編対象になることがないようにしたい。
- ・（現役保護者）進学する中学校についても、きちんと情報提供をしたうえで、選択を与えるのが良いと思う。

## ②通学距離が延びた際の通学方法に関する委員の意見

- ・（地元住民）気候も変わってきており、だんだん暑くなってきている。バスでの通学も将来的に検討していく必要があると思う。
- ・（地元住民）1年生が通える距離なのかどうか重要なポイントだと思う。

もうひとつの再編方法である「平方北小学校の通学区域を拡大して他校の児童を編入させる方法」については、次回検討することになりました。

## 発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室  
〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第5回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認いただけます。

